

「絹物語・地域間交流から地域づくりを考える - Part 1」

<私たちはやっと横浜にたどり着きました。

日本の近代化を支えた蚕種・養蚕・製糸から輸出まで、それぞれが地域に果たした役割と

地域間の繋がりが、今、新たな交流を生み、広い視野での地域づくりの第一歩を踏み出す>

理事長 星 和彦

私たちの研究集会は、一昨年は甲州市上条集落、昨年は長野県上田市で行いました。地域間交流の輪が広がり、絹の道の最下流である横浜で開催することができました。開催にご支援頂いた（一般社団法人）横浜歴史資産調査会、会場のご手配とご協力を頂いた BankART Life 事務局の皆様には感謝致します。

8 日（土）は、午後から、元横浜市都市整備局上席調査役の国吉直行さんと NHK の佐滝剛弘さんの基調講演、その後、頂いたお話しをもとにシンポジウムを行います。

国吉さんは、横浜市に入庁以来、都市デザイン担当（後の都市デザイン室）設立に参加し、以来 36 年間一貫して横浜市の都市デザイン行政を担当してきました。現在は、横浜市を退職され、横浜市立大学特別契約教授として幅広い活躍をされています。

横浜市では、みなとみらい 21 地区の新しい地区の演出から、山手地区の西洋館、赤レンガ倉庫などの地域の歴史や歴史的建造物を活かしたまちづくりを推進して来ました。私たちの活動領域とは遙かに行政規模が違いますが、地域にある資源（養蚕業が残した産業遺産等）を活かしたまちづくりのあり方、それに不可欠な地域行政のお話しなど、実践に裏打ちされたお話しは、私たちがそれぞれの地域に帰って、具体像を画くはじめの一步に、大きな示唆を頂けるものと思っています。

佐滝さんは昨年度もご参加頂き、長野と群馬の蚕糸業を中心に絹がもたらした地域間の関わりや地域文化についてお話し頂きました。今回は、さらに地域を広げて、絹産業の上流から下流の横浜に至る幾筋もある絹の道に関わる「まちと人々」のお話を伺いたいと思っています。絹物語りの輪をさらに広げ、地域間交流のきっかけと、地域づくりの糧にしたいと考えています。

シンポジウムのパネラーには、色々な地域・立場の方々にご参加頂くようお願いしています。

シンポジウム終了後、恒例の情報交換会（夜なベシンポジウム）を開催します。何時もどおり、気楽に膝をつき合わせて議論を沸かせて下さい。

9 日（日）は、北仲 BRICK（横浜生糸検査所の倉庫事務所・旧帝蚕倉庫本社事務所）から出発して、横浜の絹産業遺産をはじめとした、近代産業遺産を巡りたいと思います。見るところがあまりにも多く、時間が足りませんが、今回は下見のつもりで、改めて横浜にお出掛け下さい。

この研究集会の中で様々な地域間交流の輪が生まれる事を期待しています。是非、ご参加下さい。ご連絡をお待ちしています。



主催：NPO 法人 街・建築・文化再生集団

RAC 前橋事務所 担当：中村

TEL 027-210-2066 FAX 027-235-0643

e-mail act@npo-rac.org

URL <http://npo-rac.org>

共催：（一般社団法人）横浜歴史資産調査会

協力：NPO 法人群馬ふるさと回帰支援センター

写真：北仲 BRICK（インターネットより）

ご案内

1. 日程 平成 23 年 10 月 8 日(土)9(日)

研究集会・情報交換会：「新・港村」小さな未来都市 Dゾーン自由広場
見学会：北仲 BRICK・横溝屋敷・旧柳下家他 Option:三溪園

2. スケジュール

10月8日(土)

研究集会「絹物語・地域間交流から地域づくりを考える - Part Ⅰ」

研究集会会場・情報交換会：「新・港村」小さな未来都市 Dゾーン自由広場

12:45 受付

13:15～13:30 開会挨拶 米山 淳一さん((一般社団法人)横浜歴史資産調査会常務理事)
星 和彦(RAC 理事長・前橋工科大学教授)

13:30～14:15 基調講演「横浜の都市デザインと歴史的建造物」
講師：国吉 直行さん(横浜市立大学特別契約教授・元横浜市都市整備局
上席調査役)

14:20～15:05 基調講演「絹の道のまちと人々・産地から横浜まで」
講師：佐滝 剛弘さん(NHK ディレクター)

15:05～15:15 休憩

15:15～17:15 シンポジウム(予定)

梅津 章子さん(文化庁文化財総合活用推進調査官)

菅 孝能さん((株)山手総合計画研究所 代表取締役)

中沢 徳士さん(上田市教育委員会文化振興課)

中野 創さん(横浜市都市デザイン室々長)

米山 淳一さん

コーディネーター

後藤 治(RAC 理事・工学院大学教授)

コメンテーター

国吉 直行さん

佐滝 剛弘さん

星 和彦

質疑・会場との交換

17:15～17:25 総括 宮澤 智士(RAC 代表顧問・長岡造形大学名誉教授)

17:25～17:30 閉会の挨拶

18:00～21:00 情報交換会(夜なベシンポジウム)

参加者紹介

報告：上田市・昭和村・多摩・工学院大学後藤研究室の気仙沼での活動

10月9日(日)

09:30～10:00 北仲 BRICK(横浜生糸検査所の倉庫事務所・旧帝蚕倉庫本社事務所)(最寄り
駅：みなとみらい線馬車道駅2番出口前)見学の後、鶴見区へバスで移動

10:40～12:00 横溝屋敷(鶴見区獅子ヶ谷)(市指定文化財。養蚕農家)・建物、園内見学
案内人：米山淳一さん・今井信二さん

12:00～12:40 昼食(弁当)(横溝屋敷をお借りします)

子安から高速(6 大事業の高速道路整備の成果の1つ、昔の堀の底を走る道。
堀は居留地の関内と関外を分ける場所。) 花之木で降り、16号/堀割川(土
木学会選奨土木遺産)沿いに滝頭車庫へ、徒歩で柳下邸に移動。

13:20～13:50 旧柳下家住宅(磯子区下町)(市指定文化財。洋館付き住宅(大正期建造)。)

14:00～14:35 Faire Station・根岸馬見所から海岸通りまで車窓から見学

- 14:35 ~ 15:00 Aコース
徒歩で北仲 BRICK まで途中、シルクセンター・三井物産・税関等外観見学
馬車道駅解散
- 14:35 ~ 14:50 Bコース
バスで三溪園へ（入園料は各自お支払い下さい。自由見学）解散

3. 参加費：別添参加申込書でお申し込み下さい。
- ・「新・港村」小さな未来都市入村料が別途 300 円ご負担頂きます。
 - ・8日（土）シンポジウム参加：1,000 円（資料代）
 - ・9日（日）見学会参加：3,000 円（バス代・資料代・保険代）
 - ・昼食代（弁当・お茶付き）：1,000 円
 - ・情報交換会：4,000 円（飲み物・食事、但し、乾杯以降の飲み物は、別途個人負担）
 - ・宿泊所：各自ご手配下さい。
4. 参加方法
- 8日（土）
- ・現地集合と致します。時間までに上記会場にお越し下さい。
- 9日（日）
- ・北仲 BRICK 玄関集合 9:30 までにご集合下さい。

5. 問い合わせ先

NPO法人 **街・建築・文化再生集団**（略称 R A C）

〒371-0035 前橋市岩神町二丁目7-5 R A C 前橋事務所

TEL 027-210-2066 FAX 027-235-0643（中村）

e-mail act@npo-rac.org URL <http://npo-rac.org>



横溝屋敷（横浜歴史資産調査会提供）